

## 我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書についての意見募集結果

○意見の募集期間：平成26年12月19日～平成27年1月31日      ○意見延べ34名    意見総数61件

(例：整理番号1-2の「1」は29名(延べ34名)の提出者の、「-2」は同じ提出者が出した意見の整理番号です。)

分類	件数	整理番号	意見
1. にぎわい	4件	1-2	この施設を「にぎわい」の一環として利用することには賛成です。
		2-1	・市民利用型の施設が「賑わい」を創る この報告書は、「一番賑わいを生み出すのは、市民利用型の公共施設である」とまとめており、的確な結論です。 一流のプロ演奏家を招くにふさわしい施設などと高額な建設費をかけてしまうと、利用料金も高くしなければ運営していきません。旧市民会館が音響の悪さを言われながら市民団体にも使いやすかったのは、なんとといっても一日10万円程度という料金の安さがあったからです。40億円もかけて立派に新築しても、一日の利用料金が30万円もかかるのでは、市民団体のレベルでは使えなくなってしまいます。我孫子市は人口のわりに、市民活動の団体が非常に多い町です。プロの芸術を鑑賞するだけでなく、自ら歌い演じ踊り、芸術文化を創造・実践する人の多い町なのです。 市民自らが文化ホールの舞台に立ち、それを見るために多くの観客が集まって賑わう、そんな文化をめざしてこそ、わが我孫子市の特色を発揮できるといえましょう。
		10-2	基本計画を策定する上で重要な点は 1) 市の東西の交流の拠点にし、市全体の賑わいを生み出す。 2) 拠点を利用して隣接する印西市、利根町、竜ヶ崎市、柏市との人的交流を通して文化交流を強力に進める。 3) 商業を含めた複合施設、例えば飲食施設、道の駅、コンビニ、郵便局、etc、人が集う魅力の施設を作る。 4) 3) により地元の雇用の創出を図る。
		12-1	市民活動中心の施設にするより、広く市外からも人々が参集する機会をできるだけ多く得られるような施設にするべきだと思います。このために、まずホールを魅力あるものとする必要があります。
2. ホールの機能・規模	15件	2-3	・大ホールあってこそレベルの高い文化発信が可能 我孫子市のACCP事業（市民文化事業の公募企画）として、2005年の市民ミュージカルで制作された「ロミオとジュリエット（この時は、バレンタイン・ドリームというタイトルで上演）」は、我孫子市での公演をきっかけに、2012年に愛知県の豊川市民ミュージカルで再演されました。そして昨年12月には、劇団MMCというプロ劇団が六本木の俳優座劇場で上演しました。 また、2003年の我孫子市民ミュージカル「北へ帰るのを忘れた白鳥」では、台本の選定にあたって市民から原作の公募を行い、その審査アドバイザーとしてアンパンマンで有名な故・やなせたかし先生に参加いただき、市の職員や教育委員の方々といっしょに選定に携わってくれました。 当時、我孫子市がこの市民ミュージカルの制作について記者発表を行った際、記者団からはミュージカルの内容そのものよりも、漫画家協会の会長も務めていたやなせたかしさんを、どういう関係で我孫子市が呼べたのですか、という質問が多く出されたといえます。 このように、市民会館という千人規模の文化ホールがあって、そのスケールで大きな舞台を制作できるからこそ、メジャーな話題として発信されたという事例です。 ①我孫子市の特色を生かして新たなにぎわいを創出し、②限られた事業予算の範囲でも実現でき、そして③市民が文化都市という誇りを持ち続けられるという観点で、今回の報告書は正しくまとめられています。 千人規模の文化ホールは重要です。迅速に施設設計へ進行していただきたいと思います。
		6-1	我孫子合唱団に所属する合唱団の一員です。 当団の定期演奏会を行う上では、過去、市民会館は1000席でしたので、お客様を選ぶ必要がなく来場していただくことが出来、800人を超えた経験もあります。 現在は、定員オーバーしないよう、大変苦労しています。 毎年11月の行事として定着している「我孫子市合唱祭」でも、お客様を制限するだけではなく、団員も客席がないことから、他団体の演奏を聴くことができません。 一日もはやく、1000席の大ホールを備えた会館の建設を願います。
		9-1	私はぜひ文化交流拠点施設が報告書の方向で進められますように希望します。 ホールについて 我孫子市には数多くの音楽団体があります。私の所属する我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団では1000席のお客様をお迎えできる音響面に配慮されたホールの再建運動をしてきました。市内の学校団体の合唱、合奏、演劇、式典など、質のいいホールは子どもたちの情操を育てます。市内各種文化団体の発表や相互交流が促進されます。市外からアーティストや文化人を招致することもできます。ホールは文化活動の中心となり、その運営の企画に参加する市民にとっての地域が活性化することになるでしょう。

分類	件数	整理番号	意見
(2. ホールの機能・規模)		12-2	<p>規模は最低1,200席必要です。この規模であれば、市外からプロのオーケストラを招くことも可能です。客席数1,190の公会堂はプロの日本フィルハーモニー交響楽団と提携しています。東葛地域には、良い音響のホールが森のホール21しかありません。森のホールは1,955席でかなり大きく、交通の便も良くありません。小ホールは516席ですので、手頃な大きさのホールがありません。柏、流山、取手などの近隣のホールは音響的にはみるべきものがなく、老朽化も進み、交通の便も良いとは言えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東葛地域から多くの人に来ていただくためには、1,200席程度を有する音響の良いホールを建設し、プロを含む多くの演奏会を開催することがホールの稼働率を高めることにつながり、賑わいを生み出すことにも貢献するはずです。</li> <li>・高齢化が進む中で、サントリーホールや東京芸術劇場（池袋）、東京オペラシティコンサートホール（初台）などに向くのは高齢者でなくとも容易ではありません。地元で良い音楽を聴くことができれば、多くの人々が音楽を楽しむようになると思いますし、子供の感性を育む上で、あるいはお年寄りにいつまでも元気に過ごしていただくためにも重要なことだと思います。</li> </ul> <p>・我孫子市民会館が閉鎖されて8年が経とうとしています。この間、我孫子市がもつ文化的土壌が徐々に失われてきているのではとの危惧を有しています。本来、ボーリング場を改装した音響劣悪なホールを演奏会場として利用している時点で、その問題点を把握して、次のステップを考えておくべきでした。閉鎖されてからの検討では遅きに失した感もあるのですが、それでもこの状態の一刻も早い打開を考えていくべきです。新しい文化拠点は、ホールだけでなく様々な機能を有するように構想されようとしています。しかし、我孫子市の現状を考えると、この新しく建設する施設でなければならないことはそう多くはないように思います。我孫子市には多くの近隣センターがあり、それぞれが活用されているように思います。またアビスタや、大半が県の施設とはいえ駅前にはけやきプラザもあります。水の館の県からの移譲も検討されていると聞きます。すでにある施設でできることは、このような施設を活用することでも対応可能だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が多くの施設を建設した結果、稼働状況が悪く、「箱物行政」との批判を浴びるに至っていることは周知のとおりですが、その主因の一つは「多目的ホール」建設にあります。「多目的は無目的」と揶揄されたごとく、多くのものを期待することで結局はどの目的にもかなわなくなるということだと思いますが、この反省を踏まえても、厳しい財政事情の中で総花的ではなく、できるだけシンプルに良い施設をつくって多くの人々が集うようにすることが大切だと思います。ちなみに、多目的ホールは様々な機能をホールが持つことになるために、お金がかかるが音響は悪いというのが通例で、東京文化会館を例外として、他の音響の良いホールが多目的ではなく、音楽専用ホールであることはこのことを裏付けています。</li> </ul> <p>・多目的とは、端的に言えば、音楽と演劇を両立させることですが、音楽を聴くのに良い音響は演劇には不向きということになるので、両立が難しいこととなります。演劇空間はホールにする必要はないので演劇を考えたイベント空間は多角的な利用が可能となるはずで、音楽ホールに演劇のために利用する多くの設備を備えることで音響にも影響を与え、高コストにもつながります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような観点からは、今はないホール、それも市外からも注目を集め、多くの方がこのホールの客席に身を沈めて良い音楽に浸りたいと思わせるような良いホールをつくることを優先すべきと考えますし、このことが我孫子市の文化発信にもつながると思っています。</li> <li>・小ホールの併設についてですが、上述のとおり演劇などの上演を考えた小ホールは、音楽に向きません。演劇の上演を想定したイベントスペースを考える方が良いと思います。その上で小ホールということでしたら、音響の良いホールであれば、器楽、声楽、室内楽などニーズは多くあると思います。ただ、300席というのは成功している王子ホール（315席）の例もありますが、少し小さ過ぎるように思います。</li> </ul>
		17-2	<p>今でも週末には市内外から人々が遊びに来ていますが、より「にぎわい」を持たせるためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々がゆっくり座って憩える場として美味しくリーズナブルな食べ物を提供する場所を作ること。これをメインにする位の覚悟で取り組む（我孫子市の野菜・産物などを多用して特徴あるものを！）ありきたりのレストランでは駄目。</li> <li>2. 小規模でも上質の音楽を楽しめるような音響効果の良いコンサートホールを。</li> <li>3. 雨が降っても小さな子ども達が安心して遊べるフロアーを。</li> <li>4. 中高生など若い人たち、更には年配者でも気軽に立ち寄れる書籍のある部屋を。</li> <li>5. みんな健康で長生き出来るようにスポーツの出来る部屋、などなど。</li> </ol>
		19-1	<p>旧市民会館が取り壊されて以来、音楽団体は大きな公演を行えなくなってしております。また、毎年市内の各中学校で開かれる合唱コンクールが、やむなく茨城県のホールに出向いて行われているのをご存知でしょうか？1000人規模の音響の良いホールができれば、音楽団体が連携して大きな公演を開くことができますし、市外の音楽の企画を呼び込むこともできると思います。また、音響の良いホールは、音楽以外の講演会などにも居心地の良い空間を提供できるはずで、我孫子駅前のけやきホールは、規模も小さく、音響も悪く、多目的ホールの悪しき例ではないでしょうか。</p> <p>旧市民会館は、図書館が併設されていたと思いますが、独立した図書館ができたのですから、音楽ホールの建設でできる空間は、美術、書道、華道、写真などの展覧会場にすると良いと思います。</p>

分類	件数	整理番号	意見
(2. ホールの機能・規模)		21-1	<p>我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団に所属している者です。 まず、音楽ホールとしての機能を持つ施設は、我孫子市に必須だと考えております。また同時に、貴報告書にあるような様々なものが有機的に繋がる交流拠点となる必要もあると考えております。 我孫子フィルは年2回の演奏会を開催しておりますが、旧市民会館閉鎖後はその代替施設として、けやきプラザふれあいホールを利用しています。しかし、当該ホールは、下記の点において私たちの演奏活動には不十分な施設であり、新たな音楽ホールを必要と感じております。</p> <p>①音響・舞台の大きさ ふれあいホールは、スポーツ施設を兼ねているため音響は悪く、張り出し式の観客席は不安定でキンミ音がするなど、少なくともクラシック音楽の演奏会には適さないホールと言えます。 また、舞台の大きさからオーケストラと合唱団が同時に舞台に乗ることができず、ベートーベンの第九などの大規模なプログラムを断念せざるを得ない状況が続いています。 市内に多数の音楽団体があるにもかかわらず、音楽に適したホールが無く、やむなく近隣自治体のホールを使用している団体も見受けられます。</p> <p>②収容人数 ふれあいホールは、我孫子フィルの演奏会では客席が全く足りないため、やむなく2回公演を行っています。 また、現在チケットの流通量を制限し、新規のお客様はもちろんリピーターにも十分に声を掛けられない現状があります。 我孫子市の文化活動を活性化させるためにも、大人数を収容できる大ホールが必要です。</p> <p>③付属設備 ふれあいホールでは、舞台裏の楽屋や控え室は小さな部屋が3部屋ほどしかなく、けやきプラザの上層階の施設を併用し、一般利用のエレベーターでの移動に非常に不便を感じています。また、待機するのに十分な舞台袖がありません。</p>
		22-1	<p>交流拠点整備調査研究報告書を拝読して、音楽ホールの建設が具体的に検討されつつあることをうれしく思います。私は我孫子市民フィルでバイオリンを演奏していますが、けやきプラザのふれあいホールは、客席数が少なく演奏会を2回公演にせざるを得ない、ホールが狭いため曲目が限られる（ベートーベンの第九交響曲など合唱団体とオーケストラがステージに乗る曲は演奏できない）等のホール面での制約があることを残念に思います。また、多目的ホールであるため床にバスケットボールのコートのラインがひかれており、初めて演奏会を聴きにきた友人が驚いたこともあります。制約が解消される音楽ホールができることを期待します。 ホールの仕様も800席以上、音響が整っているものが良いと思います。 市民会館があった時は、合唱団体と合同の演奏会を開催したり、中学校の合唱コンクールで使用したり、音楽ホールを通じた地域のつながりがありました。現在は母校の合唱コンクールも柏市民文化会館や今年は同施設が耐震工事で使用できなかったため竜ヶ崎市のホールで開催したと聞き、場所探しに苦労している様子が見受けられます。 音楽ホールができ、ホールを通じた地域のつながりが復活することを願います。</p>
		23	<p>どこの市でもあるものが我孫子市にはありません。これはとても恥ずかしいことです。旧市民会館解体後けやきの二階ホールを使用していますが、あくまでも多目的ホールで音楽には適していません。一日も早くプロの方々を呼べる様な又市民の音楽祭を開ける様な千人位入場出来るホールを作って下さる様切にお願いします。これからの若い方々の為、よろしくお願いします。</p>
		24-1	<p>1週間に1回のコーラスに参加させてもらい楽しい時間の1つとしています。最初のときは市民会館が出来ていたの、来客も1,000人位は入れる物でしたから、合唱祭だけでも20団体程あり、合唱人数が多く、それでもまあまあ客席も何とかなっていたと思います。それに多目的ではなかったの、ホールとして色々な催し物もあり、観覧も出来て、現在みたいに人数制限もきつはなく、楽しむことが出来ました。 今では趣味をやる人数が増え、近隣センターに学習室を申し込んでも3回に1回部屋が当選すれば良い方で、段々厳しくなっています。 コーラスも50人以上団員を抱えている団は、練習場を獲得するのに苦労していることと思います。我々もホールが落選してしまうとそれはそれは大変苦勞致します。そんな時に我孫子市に50人以上入れる会場があればよいのと思います。 現在けやきホールがありますが、千葉市(県)のもの聞いております。使用料金も高くそれに多目的なホールなため使用する時間に制限があり、簡単には使用が難しく不便を感じております。それに舞台として使用するには500席しかありません。ただ、我孫子駅に近いので、それはそれは本当に便利な良い処にあって良いと思いますが・・・。 シニアという年齢を考えた時に80才以上の方でも日々を楽しんでいる方達がずいぶんとおります。いつまでも健康でありたいと思うことは誰でも同じだと思います。認知症にはならない為にも自分が楽しいと思うクラブに入りそこで色々な人に出会い会話を楽しみ歌ったり指先を使い物を作り足腰を使い歩き認知症を考えて思うより少しでも楽しいことを考え一日にでも健康であることを思い考えて生けたらうれしいと思っております。 是非我孫子市民会館を造って頂きたいと思えます。多目的ではなく舞台もあり客席も出来るだけ多く1000席ぐらいあればと思います。我孫子市にも劇場があるのだと自慢もできます。</p>

分類	件数	整理番号	意見
(2. ホールの機能・規模)		25	私達の合唱団は現在演奏会等はけやきのホールを利用して頂いていますが、多目的ホールの為、いろいろ支障があり大変でした（座席数、お客様からの苦情等）。1000名位のお客様が呼べるホールのある市民会館をお願いします。我孫子市のより一層の文化向上と交流の為にプロの音楽家も堂々と来て頂ける様な音響設備の整ったホールをこれからの若い人達の為にも是非是非お願いします。
		13-2	音楽や演劇等の表現芸術を発表・鑑賞することの出来る収容力1000人規模の本格的ホールと座席を固定しない300人程度の小ホール、リハーサル室、会議室を備えた、中規模のコンベンションセンターとして建設するのが適当であろうと考えます。
		15-2	病気がわかれば、手当での仕方、治療方法も考えられてくる。ここでの根本的解決策は今いったのと逆の道をゆくことだ。はじめにやりたいことをもった人を見つけ出し、その人たちの活動の場を作るという考えから出発することである。 音楽だって全く同じ。まず、その町なり市なりに音楽をやっている人がいる、集まって合奏したり合唱したり、時にはオーケストラの会を開きたいということがあって、そのためにホールなり、練習場なりを作る。それがまちの人たちの気に入って相当数の聴衆層が形成され、会場の響き具合も雰囲気も“良いホール”だということになれば、内外の有名な音楽家も呼べるようになり、彼らも来たがるようになる・・・」。 我孫子駅直近の地の利を占める「けやきホール」が他に代替施設がないという理由からコンサートが催されていますが、このホールに発展性がないのはどうしてか本報告書にはなんら言及されていません。このホールはもともとは室内体育施設として誕生したため音が乾いて残響がゼロだったのです。我孫子は、快速電車で30分の上野に東京芸術大学音楽学部がありますし、プロの音楽家も少なからず居住しておられます。 芸術文化レベルの重要な条件については少なくとも卓越した専門家の意見を参考にすることが最優先であり、市政のリーダーシップに不可欠な前提かと考えます。 また昨今、市内小中学校では吹奏楽が盛んであります。例えば布佐中学校では体育館ばかりでなく近隣の市民ホールでの発表会を行っております。若々しく一生懸命な生徒たちのまともなホールでのコンサートのチャンスを市内に確保してあげることは、次世代我孫子人たちへの大きなプレゼントとなるでしょう。
		28-3	・成人式など一堂に会することが出来るように要望。 ・地元の団体の発表会等もちろん、プロ（芸能人）として活躍している人を呼べる位のもの。営業に繋がるようにしたい。 ・第九、メサイアができるくらいのホールであって欲しい。 ・コンサートとして成立するくらいの音響効果 ・ライティング効果 ・けやきのホールは客席の椅子の傾斜角度が大きく俯瞰した感じが否めない。 ・ホールに舞台裏の道具がうまく運べるようにしたい。
		29	・下手・上手両方からの出入りは申すまでもなく、待機場所として広くとって欲しい。（楽団の器材置場） ・照明については、バックの壁全部に光が出るように（けやきは中心のみ） ・楽屋については、全控室にシャワールームは要らないと思う（けやきの使用頻度を確認して欲しい） ・音響効果・プロの芸能人を呼べる施設舞台を希望します。
3. 施設の機能	6件	5	文化交流拠点施設の中に食育センターを作ってください。 1) 地産地消を使った食事を提供できるレストランが出来ます。 水の館では地産の農産品を売っています。 2) すぐ近くに大きな駐車場があります。 3) 近くに大きな病院が2つ有ります。食育と健康に関する講座が行えます。特に高齢者の食育に適しています。 4) 前が高等学校です。彼らはボランティア活動を学べます。 5) 川村学園は食育に合ったレシピの開発と承認が出来ます。 6) 食育に関係する福祉課、農政課、治水課、保健課、教育課、企業立地推進課が互いに協力する体制をつくれます。 7) 鳥の館が近く、観光客の憩いの場としても提供できます。 8) 対岸にある柏市の道の駅、温泉と連携できます。 9) 市役所からも近いので市民と職員との距離が縮まります。 10) 近くに評判のよいレストランが沢山あります。食育認定料理をつくって食育に参加してくれます。 11) 散歩道の中央に位置します。 12) 市民農場もあります。新鮮な地産の農産品が直接供給出来ます。 13) 1キロ西に料理教室とトレーニング施設のアピスタがあります。
		9-2	ひとつ希望があります。それは社会の中で孤立しがちな人々の居場所を視野にいれたものであればという理想です。不登校の子どもたち、病気が怪我、精神疾患回復中の方、高齢者の方、介護を担っている方、貧困で活動が制限されている方などにとっての居場所となり、第三者と語ることができ、仲間と出会い、再び社会へ戻って行けるような場を提供できればと思います。具体的には、「居場所」を開設する。農業の方々の職場を体験させていただく。農産物の地産地消・レストラン事業等の簡単な労働に短期間参加できるようにする。趣味団体の方々に定期的にワークショップを開いていただき参加できるなど、元気を取り戻す活動です。なんらかの門戸が開かれた運営であればと思います。
		10-3	5) 文化ホールは多目的として芸能、展示がある施設とする。 図書館があっても良い。
		13-2 (再掲)	音楽や演劇等の表現芸術を発表・鑑賞することの出来る収容力1000人規模の本格的ホールと座席を固定しない300人程度の小ホール、リハーサル室、会議室を備えた、中規模のコンベンションセンターとして建設するのが適当であろうと考えます。



分類	件数	整理番号	意見
(3. 施設の機能)		17-2 (再掲)	今でも週末には市内外から人々が遊びに来ていますが、より「にぎわい」を持たせるためには、 1. 人々がゆっくり座って憩える場として 美味しくてリーズナブルな食べ物を提供する場所を作ること。 これをメインにする位の覚悟で取り組む（我孫子市の野菜・産物などを多用して特徴あるものを！） ありきたりのレストランでは駄目。 2. 小規模でも上質の音楽を楽しめるような音響効果の良いコンサートホールを。 3. 雨が降っても小さな子ども達が安心して遊べるフロアーを。 4. 中高生など若い人たち、更には年配者でも気軽に立ち寄れる書籍のある部屋を。 5. みんな健康で長生き出来るようにスポーツの出来る部屋、などなど。
		28-4	【レストラン】 ・レストランとは別に、休憩所として、軽く喫茶出来るくらいのものであるとよい。 ・「あそこに食べに行こう」と思わせるくらい美味しいレストランにするべきである。 ・地元の農産物はあちこちで売っているので売る事は止め、「我孫子の野菜を使ったレストラン」として売り込むようにするとよいのではないだろうか。 ・普段は部屋を二分割、三分割できるようにして、50人、100人位集会できるスペースが欲しい。我孫子には椅子席の食事処がない。演奏会の後、総会など、利用者が多いと思う。 ・椅子席はシニアが多くなっている、儲かると思う。 【ギャラリー】 ・壁面を利用した常設ギャラリーとして、岡田正二などの、市が所蔵のものを飾ると良い。よって壁面は大きい（または多い）方が良いと思う。 ・ギャラリーは単純な箱状態ではなく、壁の凹凸、高低などであると面白さに繋がると思う。 ・ホールから出てきて「寄ってみよう」と思わせる、目に着く場所にあったほうが良い。
4. 交通アクセス	5件	1-1	高齢化社会に鑑み、場所が最大の要素だと思います。我孫子駅より徒歩10分程度の場所を提案致します。いくらい施設を作っても、我孫子駅から遠方であれば、そこまで行くことができず宝のもちくされとなります。また駅近くに「けやきぶらざホール＝550名収容」がありこのホールとの競合になります。競合に負けないためには我孫子駅により近いことおよび使い勝手が良いことを最優先すべきです。
		11-2	我孫子市のみならず、東京からも交通の便のよい地に一日も早い建設をお願い致します。文化都市（我孫子市）にふさわしい「ホール」が建つことを願ってやみません。
		12-5	高野山新田エリアは駅から歩くにはかなり遠いために、駐車場の整備以外にも、バスの便など、アクセスが容易となるように配慮すべきだと思いますし、この点も大きなポイントになるように思います。
		17-3	アクセスも 1. 手賀沼公園から手賀沼を楽しんでもらいながら船で。 2. 我孫子駅から鳥博経由のバスで。 3. 歩いて、白樺派文人たちの足跡を訪ねながら、と変化に富んだアプローチを楽しめます。
		24-2	駅から遠いところでは意味がありませんが・・・。 我孫子市の皆様から楽しめる会館をお願いしたいと思います。
5. 建設候補地	11件	6-2	水の館を無償で譲り受ける、とありましたが、私は、環境・交通の便からも素晴らしいところですから、是非、ここにホールを建設して頂きたいと思っています。現在の建物を活かした改築でできるのではないのでしょうか？ 我孫子が美しいと思われる場所の代表的なところだと思いますので、劇場が出来たとしたら、全国的にも有名になると思います。著名な音楽家もお呼びできるのではないかと考えます。 私たち合唱連盟会員も高齢化しております。是非、全員が元気なうちに、再びの我孫子フィルハーモニーと合同のコンサートを実施したいと思います。 どうぞ、よろしく願い致します。
		10-1	調査の結果では①高野山新田エリアが評点では1位にランクされました。 我孫子市は手賀沼、利根川に挟まれ真ん中を成田線が通っています。西から東に延びる地形が特徴です。 我孫子市は、様々な点において西高東低です。今回の調査項目に加味された“にぎわいを創成する”拠点とは何でしょうか？確かに手賀沼、鳥の博物館、水の館（県から市へ移される）のある高野山新田エリアは局所的な賑わいは生み出せるかも知れませんが、市が標榜する市の東西のバランスのある発展では、全体の賑わいにはなりません。 市全体の将来像を見据えて、私たちは評点では最低にランクされてる气象台記念公園を拠点として施設整備をするよう要望します。当地は高台にあり筑波山と利根川の眺めも良く市の土地です。
		12-4	・施設の設置場所は理想的には我孫子駅または天王台駅から徒歩圏内ですが、現実的には、高野山新田地区になると思います。
		15-3	2. 土地の選定について 气象台公園は4万3千平方メートルの市有地となっており、都市公園法の適用をうけている件さえある程度この規制が相対化されれば（例えば、周辺市長さん方の応援をえて“特区”を地方創成策等とからませる努力など）。ユニークな音楽ホールなどに特定（もちろん市立美術館なども考えられる）した開発はまったく不可能とは思いません。 ここは成田線新木駅から500メートルで、対岸には小貝川の接続や東京芸大美術学部などもみえ、関東平野の象徴的な存在である筑波山の美しい姿も視野にあります。 また成田線の活性化に対しても我孫子市が現実的に徒歩圏内ということで寄与するところ多大でありましょう。 高野山新田エリアも、近く千葉県から引渡される「水の館」の発展性ある活用と併せ、ユニークな意義ある提案とは受けとめておりますが、ここになにかもを集約し、「にぎわい」創出と称して導入するのはどうなのでしょう。 50億前後の巨費を、この報告書に記された程度の検討で、直接的な責任を負う関係各位はどのように対処されるのか不安でいっぱいあります。 この高野山新田エリアにしても農振法・農地法との整合性の問題があると課題が記されておりますが、こちらは簡単に法の枠が外されて、都市公園法は絶対的制約だということにみえる主張については、一般的にいえば、高度成長期を背景とした法制度を、新しいゼロ成長のもとで、規制緩和の呼び声が高まる世相において、独断的に処することなく、市民に適切な説明責任を問われていることを自覚せねばなりません。

分類	件数	整理番号	意見
(5. 建設候補地)		16	文化交流拠点施設の建設を待望しています。限られた予算の中での優先順位をつけての取組となるでしょうが、我孫子市民の多くの人たちに夢・希望・勇気を与えてくれる発信基地・施設と思います。我孫子市に暮らしたい・住みたい・行きたいと思える魅力ある我孫子にするため、賑いを醸成しうる手賀沼周辺に文化施設を建設。この文化交流拠点施設を通して市と市民が一体となって魅力ある我孫子を創っていききたいものです。
		17-1	かつて大勢の署名をもって期待していた「市民会館」建設。世の趨勢で「文化芸術振興」「交流」「にぎわい」を創出する新たな拠点施設の整備を、となりました。確かに毎日が日曜日の方々が増え、どこの集会施設も会場を確保するのが難しくなっています。手賀沼畔に建つ県立「水の館」が我孫子市に移管されるとの事、ちょうど良い時期なので「水の館」「鳥の博物館」「市役所」などを一体と考えて再開発したらどうでしょうか。子供たちにとって魚と鳥と遊びと勉強の場としても大いに有益でしょう。
		19-2	立地については、アクセスの良さがとても大事だと思います。現在、東京芸術劇場が池袋からのアクセスが良く、音楽会ばかりでなく美術や書道の展覧会によく利用されています。その意味では手賀沼公園があるいは天王台西公園が良いと思います。
		21-2	音楽ホールとしては色々と不満のある「ふれあいホール」ですが、立地に関しては我孫子駅に隣接しており、抜群に良いと言えます。新文化会館については、報告書内で7つの候補地が挙げられていましたが、周辺施設との連携やアクセス面では、やはり我孫子駅に近い手賀沼公園や天王台駅に近い天王台西公園が適当だと考えられます。一方、中里新田エリアなども、成田線や湖北駅周辺の発展に繋がれるのであればとても良いと思いますが、リスクも大きいものと考えられます。そのほかのエリアについては、市役所や水の館付近であっても、アクセス面で利用者がかなり限定されてしまうのではないかと考えております。
		22-2	電車でコンサートを聴きに来て下さる方も多いのでアクセスが良い場所、特に常磐線の駅から近い場所、文化交流拠点となる場所が良いと思います。具体的には、(1)高野山新田エリア、(5)我孫子市役所が良いと思います。いずれも我孫子駅から少々遠いですが、水の館に農産物直売所が移り、にぎわいの拠点となることを考慮すると選択肢に上がっている中ではここが良いのではないかと思います。
		26	下ヶ戸地区は大学と企業があるにもかかわらず、周りに憩える様な場所がありません。女子大近くに気軽に立ち寄ってもらえる様な文化施設を希望します。我孫子は学校以外どこにも行ったことがないと学生さんから聞きましたので。
		28-2	【場所】にぎわいを目的の「ミュージアム通り」として発展させ、鳥の博物館、山科鳥類博物館、水の館諸々、文化スポット周辺がもっとも適しているとおもいます。観光スポットとして市外、市内から目的地にはバスの便を多くすると、一度に回遊できると思います。
6. 全般	7件	2-2	<p>・出せる予算の範囲で建設する</p> <p>報告書では、「プロのアーティストの興行にも対応した高コストなものではなく、地域における市民の文化芸術活動の推進に重点を置いたものとするのが望ましい」と提言しており、これも的確な視点です。</p> <p>1,200席規模の文化ホールの建設費用としては、他市のいくつかの事例を踏まえると、35～40億円といわれますが、作り方によっては大幅に安くできます。今後予測される我孫子市の財政では、文化施設だけに予算を集中させるわけにはいかず、学校の耐震化・エアコン化やごみ焼却場、高齢者福祉など、他の分野でも必須のものがあります。ですから文化施設に対して20億円しか出せないなら、20億円でできるものを作ればよいのです。音響の良いホールは、多くの人が望むポイントですが、お金をかけなければ実現できないわけではなく、壁面に古しの布地を下げて、残響は調整できるのです。</p> <p>大ホールさえあれば、プレハブの部屋を並べても楽屋になりますし、市民の会議や学習会にも使え、市民のアマチュア活動にはそれで充分です。建設場所がたとえば高野山なら、水の館の3F研修室と連結すれば、多人数の楽屋として再活用できますし、リハーサル室としても使えます。いっぽう手賀沼公園ならアピスタと連動させれば、建設費は大きく低減できます。すべてを新設するのでなく、既存の施設と連結して活用することも、今の時代に適した選択でしょう。</p> <p>白樺文化人の志賀直哉は、豪華な邸宅で文筆活動をしていたわけではなく、質素な住まいでしっかり創作活動をしました。低廉な予算で、財政に無理なく建設した、“清貧な”文化施設こそ、我孫子市にふさわしいものです。</p> <p>仮に40億円以上の高額な予算をかけられたとしても、しょせんサントリーホールや東京文化会館に対抗できません。しかも有名な演奏家によるコンサートは、1時間で行ける都心のホールへ出かければ鑑賞できるのが、我孫子の地理的な環境なので、よほどの高質ホールを作らない限り、市民は結局都心のホールへ出かけてしまうでしょう。</p> <p>逆に、我孫子の清貧な造りと運営に賛同して、来てくれるプロの演奏家も中にはいるでしょうから、そうした方々を迎えてのユニークなコンサートが開催できます。</p> <p>このように我孫子市の特徴を活かした文化施設とは、我孫子市が無理なく出せる予算の範囲で建設し、完成後の企画や管理面においても、ボランティアで積極的に関わってくれる市民との協働で運営している施設です。人件費は抑えられ、市民が使いやすい料金で運営できます。</p> <p>我孫子市は都心への通勤に便利な町として、これまで発展してきました。都心の第一線企業に長年勤めて、経営や組織の運営、商品企画に携わってきた、団塊の世代ビジネスマンたちが定年を迎え、我孫子の地元をフィールドにして生活する時代に入ってきます。</p> <p>年金で暮らせるシニアたちは、たいした報酬を望まずに、あるいは無報酬で、現役時代に培ったスキルをボランティアで提供してくれます。こうした市民協働の運営体制を築くことで、市民が利用しやすい料金でまかなうことは十分に可能でしょう。</p>

分類	件数	整理番号	意見
(6.全般)		12-3	<p>・我孫子市は市民活動が盛んな地域ですから、市民活動に参加している方に聞けば、市民の使用優先のホールという意見が出てくるのは当然だと思いますが、それだけでは、市民活動に参加していない大半の市民の足をホールに向けることはできません。また、市民優先というのは、たとえばホールの利用申し込みに際して、市民の利用を優先する（市民の申込み優先期間を設ける等）、料金も市民と市外者の利用に差を付けるといった配慮が可能で、この方がはるかに多額の利用料金収入を得ることができず（このような方法を講じている自治体は多数あります）。市民団体は主に土・日・祝日に催し物を開催しますが、プロは主として平日開催です。地元であれば、平日の夜でもイベントに行きやすく、また昨今特に年配の方をターゲットに平日の昼にコンサートを開催して多くの聴衆を集めている例があります（新日本フィルハーモニー交響楽団など）。</p> <p>「我孫子市にふさわしい文化施設」については、我孫子市文化施設検討委員会の報告書をご参照いただきたい。</p>
		15-1	<p>我孫子市は、手賀沼や利根川といったいわば東京圏では独自の河川景観をく売りモノとする地域といえるでしょう。</p> <p>小さな我孫子市ではありますが、歴史をみますと、江戸時代後半から各地で優れた人材を輩出しており、それらは不滅の誇りを私たちに遺しております。</p> <p>こうした背景に想いを寄せますと、これからの我孫子にとって最優先にして不可欠なことは、時代のエトスを担う文化戦略であるといえましょう。</p> <p>そうした見方からしますと、本報告書に不足しているのは、この一大転換期を主導する思想というのか哲学らしきものは、星野市長のいわれている「にぎわい」の創成らしきキャッチ・コピーだけであって、それを多機能併存の市民ホールにおきかえる手法には疑問を感じざるをえないのです。私自身は持続的な発信性を確保した魅力的な存在が、「にぎわい」には不可欠だと考えています。</p> <p>そういうのが成熟社会の新しい公共に訴えて支持されるであろうと予想され、多世代におよぶ「持続的な発信性」がいわばキーワードになるのではないかと思います。</p> <p>いま書棚から、森啓（編書）『文化ホールがまちをつくる』（初版1991年の学陽書房の2007年7刷）をとりだしてみました。</p> <p>文化勲章をいただき、先年亡くなった吉田秀和の発言の一部を同書259ページから引用してみましょう。</p> <p>「公共体のつくった多目的ホールの大半が、はなばなしく開場はしたものの、何年もしないうちに、全然違う催しがめまぐるしく入れかわりかけられる“共同便所的存在”（ひどい言い方でごめんなさい！）になり下がり、そのうちごくたまにしか使われない空き小屋同然になってしまうのは当然である。“はじめに小屋ありき”で中身は他人任せだった誤り。</p>
		15-3 (再掲)	<p>2. 土地の選定について</p> <p>気象台公園は4万3千平方メートルの市有地となっており、都市公園法の適用をうけている件さえある程度この規制が相対化されれば（例えば、周辺市長さん方の応援をえて“特区”を地方創成策等とからませる努力など）。ユニークな音楽ホールなどに特定（もちろん市立美術館なども考えられる）した開発はまったく不可能とは思いません。</p> <p>ここは成田線新木駅から500メートルで、対岸には小貝川の接続や東京芸大美術学部などもみえ、関東平野の象徴的な存在である筑波山の美しい姿も視野にあります。</p> <p>また成田線の活性化に対しても我孫子市が現実的に徒歩圏内ということで寄与するところ多大でありましょう。</p> <p>高野山新田エリアも、近く千葉県から引渡される「水の館」の発展性ある活用と併せ、ユニークな意義ある提案とは受けとめておりますが、ここになにもかもを集約し、「にぎわい」創出と称して導入するのはどうなのでしょう。</p> <p>50億前後の巨費を、この報告書に記された程度の検討で、直接的な責任を負う関係各位はどのように対処されるのか不安でいっぱいあります。</p> <p>この高野山新田エリアにしても農振法・農地法との整合性の問題があると課題が記されておりますが、こちらは簡単に法の枠が外されて、都市公園法は絶対的制約だというようにみえる主張については、一般的にいえば、高度成長期を背景とした法制度を、新しいゼロ成長のもとで、規制緩和の呼び声が高まる世相において、独断的に処することなく、市民に適切な説明責任を問われていることを自覚せねばなりません。</p>
		16 (再掲)	<p>文化交流拠点施設の建設を待望しています。限られた予算の中での優先順位をつけての取組となるでしょうが、我孫子市民の多くの人たちに夢・希望・勇気を与えてくれる発信基地・施設と思います。我孫子市に暮らしたい・住みたい・行きたいと思える魅力ある我孫子にするため、賑いを醸成しうる手賀沼周辺に文化施設を建設。この文化交流拠点施設を通して市と市民が一体となって魅力ある我孫子を創っていききたいものです。</p>
		21-3	<p>我孫子フィルの演奏会利用は年間2回ですが、設備や立地などがしっかりしたホールがあれば、市内外の団体や学校にとどまらず、一流のアーティストなどの利用もあり、高い利用率が見込めると思います。もし練習拠点として毎週利用できれば、練習後に周辺の商業施設を利用して交流を深めるなど、団内そして地域の活性にもつながるものと考えられます。</p>
		17-4	<p>発想を変えて、「水の館」のプラネタリウム室を改築して、コンサートホールと併用出来ないものでしょうか。</p>
		28-5	<p>現在は情報化社会である為、目が、耳が、いわゆる五感が発達している来館者を満足させる為には、「いいわね」と思わせることが、目標と思われれます。最終的には金銭面の問題だと思いますが、極力要望に近いものにしてほしいものです。そして出来あがったら、如何に振興させるか市民のエネルギーで創造し、いろいろな分野からプロデュースにも参加するように方向づけてほしいものです。</p>
7. 建設要望	13件	2-3 (一部再掲)	<p>①我孫子市の特色を生かして新たなにぎわいを創出し、②限られた事業予算の範囲でも実現でき、そして③市民が文化都市という誇りを持ち続けられるという観点で、今回の報告書は正しくまとめられています。</p> <p>千人規模の文化ホールは重要です。迅速に施設設計へ進行していただきたいと思います。</p>
		3	<p>我孫子市民の発表の場を設け、海外や近隣他県からの方々を呼び込み文化交流を活発にしていけるためにも早急に文化施設建設を希望しています。</p> <p>宜しくお祈いします。</p>
		4	<p>文化施設(市民会館)建設を早期にお願い致したく、お願い致します。</p>

分類	件数	整理番号	意見
(7. 建設 要望)		6-1 (再掲)	我孫子合唱団に所属する合唱団の一員です。 当団の定期演奏会を行う上では、過去、市民会館は1000席でしたので、お客様を選ぶ必要がなく来場していただくことが出来、800人を超えた経験もあります。 現在は、定員オーバーしないよう、大変苦勞しています。 毎年11月の行事として定着している「我孫子市合唱祭」でも、お客様を制限するだけではなく、団員も客席がないことから、他団体の演奏を聴くことができません。 一日もはやく、1000席の大ホールを備えた会館の建設を願います。
		7	旧市民会館がなくなってから随分時が経っています。 とにかく早く建設できる案で進めて行って欲しい。
		8	文化交流拠点施設整備について強く要望します。
		11-1	十萬部の署名を集め、「ホール」の陳情に伺ってから幾年も経ちました。 近在の印西、竜ヶ崎、安食にも立派なホールがあります。 どうか、一日も早い建設をお願い致します。
		13-1	我孫子市が良い自然環境に包まれた芸術・文化都市として発展することを強く希望します。 その中心となる文化交流拠点を建設・運営することは市の発展に不可欠です。
		14	文化都市我孫子に他市より移転して来ました。残念ながら拠点がなく、その活動は徐々に細くなって来ています。場所はどこでも構いません。早く建設をお願いします。
		18	標記の件早期に建築されることを切に要望します。
		20	文化交流拠点という名称はともかく、市民会館を再建して下さい。 多くの市民が集まれ、文化的なさまざまなことに取り組める場所がアピスタだけでは、不足です。アピスタでは市域西部の限られた市民の中で、更に先着早い順の市民しか集まらない。 時勢が時勢だけに、文化会館単体ではなく、多くの機能を盛り込み市のPR目的も兼ねた施設にするのもありでしょう。
		27	我孫子市民フィル団員とし30年以上オーケストラで活動を続けています。 旧市民会館の閉鎖により、発表の場を駅前のけやきプラザふれあいホールに移し現在に至っています。 音楽ホールとしては充分とは言えないのですが、発表する会場があるだけでも感謝しなければと思っています。 当初、文化ホールの再建設をと署名など集め、議会にもお願いに行きました。 機会あるごとに、再建の訴えと募金も続けています。 どちらかと言えば、文化ホールの建設を希望していました。 このたび、文化交流拠点施設整備調査を拝見させていただいて、これからは市民の交流の場として、にぎわいの場としての施設が必要なのだと思います。 市民が集まって交流を深め、外部の方たちにも来ていただいて、我孫子の文化に触れていただけるような施設が実現できますよう、音楽活動をしながら応援致します。
		28-1	是非、造設して頂きたい。